OSAKA IBARAKI CAMPUS

2015年4月 大阪いばらきキャンパス開設
特別見学ツアー 参加者募集！

開催日 2015年5月17日［日］
10:00-14:00（予定）

定員 先着100名

内容（予定）
大阪いばらきキャンパス概要説明
学生スタッフによるキャンパスツアー
昼食会 ※昼食はご用意させていただきます。
教員による体験ツアー

応募方法 同封の応募用紙に必要事項をご記入のうえ、
郵送・FAX・E-mailのいずれかにてご応募ください。
※お電話での応募は受け付けておりません。

応募締切 2015年2月27日（金）

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

大阪いばらきキャンパス（OIC） Q&A

Q 移転する学部・研究科は？

A
- 経営学部
- 政策科学部
- 経営学研究科
- 政策科学研究科
- 経営管理研究科
- テクノロジー・マネジメント研究科

※ 2016 年 4 月、「総合心理学部」設置構想中

Q 全体の学生数は？

A 約 6,000 名（2015 年 4 月開設時）

Q OICの広さは？

A 約 9.9 万 m²
衣笠キャンパス…12.6 万 m²
びわこ・くさつキャンパス…61.1 万 m²

RITSUMEIKAN

ご寄付のお礼と
ご報告

RITSUMEIKAN
学校法人立命館 総務部 寄付事務局
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地　TEL 075-813-8110　FAX 075-813-8119　E-mail　rgiving@st.ritsumei.ac.jp

立命館

立命館は アジアそして世界の 未来のために 何ができるか？

平素は立命館学園の教育研究に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
立命館は、皆様のご期待にお応えできる学園であり続けるために、児童・生徒・学生が新しい価値を創造できる人材に成長するための土台を提供し続けていきます。
また、国際的通用性のある世界水準の教育と、特色ある研究拠点の創造に努め、日本・アジアそして世界の未来をつくる「立命館らしい」児童・生徒・学生を育てることで、教育機関としての役割を果たしてまいります。
今後とも温かいご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

学校法人立命館 理事長　長田 豊臣

3位の自覚

特色あふれるグローバル研究大学に

立命館大学は、文部科学省による平成26年度の科学研究費助成事業の配分結果において、私立大学における採択金額ランキングで第3位となりました。今後、国内トップクラスの研究力を有する私立大学として、世界水準の研究拠点の構築ならびに立命館らしい特色ある研究の実現を目指します。

■科研費ランキング（採択金額）

1位	慶應義塾大学
2位	早稲田大学
3位	立命館大学
4位	日本大学
5位	順天堂大学
6位	東京理科大学
7位	近畿大学
8位	東海大学
9位	同志社大学
10位	明治大学

※文部科学省報道発表「平成 26 年度科研費（補助金分・基金分）の配分について」（2014 年 10 月 10 日）

2/37の責任

アジアをリードする私立総合学園へ

2014年9月、日本の高等教育の国際競争力の向上およびグローバル人材の育成を図る文部科学省の取り組み「スーパーグローバル大学創成支援」事業に、立命館大学と立命館アジア太平洋大学がともに採択されました。これまで日本における教育の国際化を牽引してきた立命館。10年後には日本のみならずアジアをリードする私立総合学園となることを目指します。

採択された大学（37校）

【国公立】北海道大・東北大・東京大・名古屋大・京都大・大阪大・九州大・国際教養大など23校

【私　立】立命館大・立命館アジア太平洋大・慶應義塾大・早稲田大・上智大・明治大・関西学院大など14校

※西日本の私立大学で選ばれたのは、立命館大学・立命館アジア太平洋大学（APU）・関西学院大学の3大学です。

3,200名への挑戦

3万名の日本人学生を鍛え上げる

2023年までに、年間の海外派遣者数を現在の2倍以上となる3,200名に増やすとともに、留学生受入の抜本的強化（現在の約2,200名から4,500名へ）を行うことを通じて、立命館大学に在籍する約3万名の日本人学生をアジア・世界の人々と協働できる人材へと鍛え上げます。

■各大学の日本人学生海外派遣者数

早稲田大学	1,612名
関西外国語大学	1,413名
立命館大学	1,398名
関西学院大学	776名
慶應義塾大学	704名
明治大学	699名
法政大学	668名
同志社大学	620名
立教大学	600名
東海大学	594名

※平成 24 年度「協定等に基づく日本人学生派遣数の多い大学」（独立行政法人日本学生支援機構調べ）

GLOBAL STRATEGY OF RITSUMEIKAN

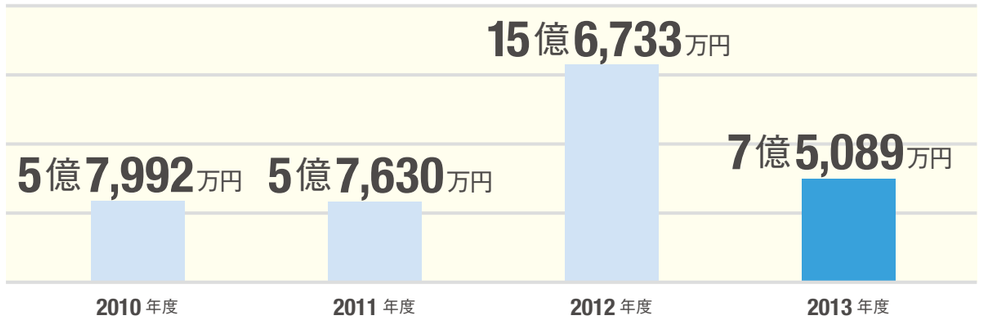
立命館は「アジアの未来創造に貢献し、世界の 人々と協働できる人材」の育成に挑みます。

急速に国際化が進む現代社会において、多様な文化的背景を理解するための教養と未知の世界に果敢に飛び込んで いく姿勢を兼ね備えた人材の育成が求められています。
そのような社会からの要請に応え、立命館がアジア最大の多文化協働人材育成の拠点となるために、引き続き、皆様 のお力添えをお願いいたします。

寄付実績のご報告

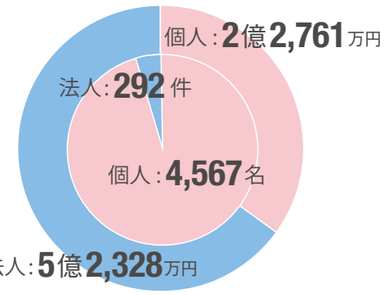
2013年度に皆様からいただきましたご支援についてご報告させていただきます。
昨年度は、総額7.5億円の温かいご支援を頂戴いたしました。

寄付金額の推移

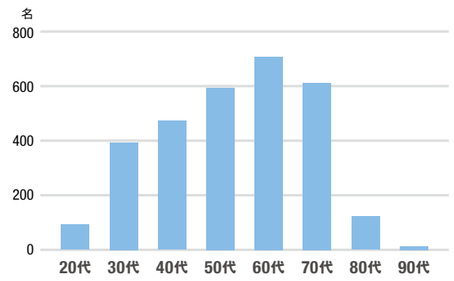


※ 2012 年度は、新図書館建設にあたり、高額のご寄付がありました。

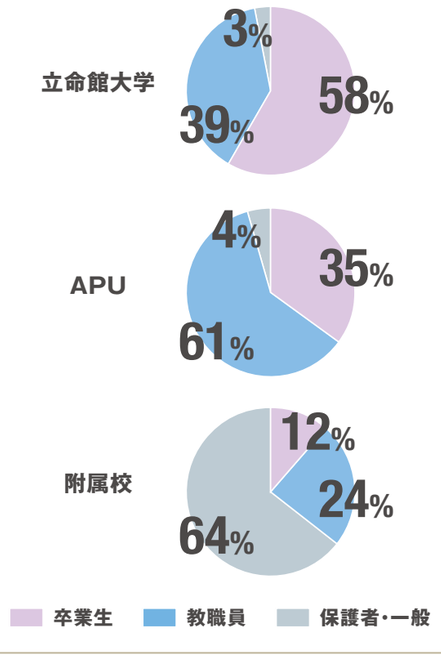
■ 寄付者と寄付金額の内訳



■ 個人寄付者の年代分布（立命館大学）



■ 個人寄付者の属性



立命館大学校友会 未来人財育成基金

校友一人ひとりの「未来の立命館は私が創る」という想いを繋ぎ、校友の支援で後輩が育ち、後輩の成長が母校を発展させるという広く・長い支援のサイクルを生み出したい。そのような考えから始められた立命館大学校友会が主導する新しい後輩・母校支援のかたちです。
一口1,000円からできる本支援は、立命館未来サポーター（本基金の支援の輪を拡大すべく、各都道府県単位で募集活動を行う校友）による募集推進活動のもと、卒業生からの継続寄付を中心に支援の輪が広がっています。

実 績 **1,723名／4,916.6万円**（2012年10月～2014年11月末時点）※法人・団体を含む

校友会未来人財育成基金へ2016年3月までに累計2万円以上のご寄付をされた方々に、『立命館特製バッジ』が贈られます。
2014年10月に開催された「オール立命館校友大会 2014 in 岡山」では、このバッジを付けた方々が多く見受けられました。

立命館大学校友会 村上会長

理工学部BKC移転20周年記念事業

2014年、理工学部はBKCに移転して20周年を迎えました。世界水準の教育・研究を実現すべく、天文台の設置をはじめとする各種環境整備を図り、より一層社会に貢献していくことを目指しています。
※この募集は2015年3月31日をもって終了予定です。

実 績 **863名 ／ 3,578.4万円**（2013年4月～2014年11月末時点）※法人・団体を含む

この事業では、累計2万円以上ご寄付くださった方々のご芳名を刻印したタイルをBKC内に設置しています。刻印タイルは今後、順次増設される予定です。

輝く学生インタビュー

「戦う相手は“自分自身”～射は心を映す～」立命館大学弓道部

インタビューに答えてくれた
立命館大学弓道部 木川 寿眞さん

■意外と知られていない弓道のルール

弓道とは一言で言うと「弓を引いて、矢を28ｍ先の的へ命中させるスポーツ」です。点数制のアーチェリーとは違い、当てた矢の本数を競います。弓道のルールを聞かれた時に「的の端に当たっても真ん中に当たっても一緒だよ」と説明するとよく驚かれます。当たれば「○」外れれば「×」という単純なルールですが、実際にやってみると非常に奥深いスポーツであることがわかります。

■弓道はどこまでも自分との戦い

ほとんどのスポーツは「相手との戦い」で強いほうが勝ちますが、弓道はどこまでいっても「自分との戦い」です。私にとって弓道は、“自分と向き合える大切な機会”だと思います。「当てたい」気持ちが先行し、的を外した時はいつも、自分自身に対して「まだまだ弱いな」と思います。そういった弱い自分に向き合えるこの機会を、これからも大切にしていきたいです。

■立命館大学弓道部の強さの秘訣

監督の教えのなかに、「成長するためには、まず自分の射を破壊するところから始まる」という教えがあります。「自分の射に満足してしまうとそれ以上の成長はない。常に自分が信じていることを疑い、もっと良い方法はないかと探求する」ということだと思います。そうやって常に今の自分に満足することなく成長し続けることこそが、立命館大学弓道部の強さではないかと思います。

試合中の様子

＜立命館大学弓道部の活躍＞
2014年11月22日・23日、伊勢神宮弓道場で開催された「第62回全日本学生弓道王座決定戦」で、立命館大学弓道部男子が４年ぶり３回目となる団体優勝を飾りました。
また、学生弓道の最高峰に位置するこの大会で、藤田 裕基さん（映像学部２回生）が最優秀選手に選ばれています。

BOOKS FOR BOOKS ～立命館の本活～

読み終えた本の買取額を寄付金として活用し、新しい図書の購入に役立てる活動を2013年度から実施しています。

実 績　1,830名 ／ 82,406冊 <147.1万円>
（2013年4月～2014年11月末時点）

■活用事例のご紹介

2013年10月、立命館小学校では１～６年生の必読書（43冊）が購入され、メディアセンター（図書館）にて利用されています。

「読書の時間」に購入された必読書の紹介が行われました。

2014年8月、立命館大学の各図書館にて計307冊の書籍が購入されました。衣笠図書館には英語の多読本、BKC図書館には「日本語を学習するための本が少ない」という留学生の声に応え、日本語学習教材が配架されました。

購入された本には、本活動で集まった寄付により購入されたことが分かるシールを貼付しています。シールには、手に取った児童・生徒・学生たちに、ご支援いただいた方々の想いが少しでも届いてほしいという願いを込めています。

未来を切り開く立命館の研究者

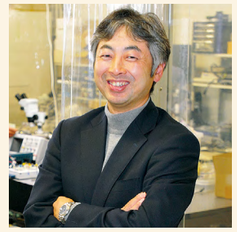
立命館発の超小型ロボで世界の医療を革新

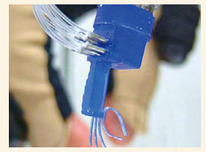
立命館大学 理工学部 バイオメディカルデバイス研究センター　小西 聡 教授

RS WEB 未来へのおくりもの　検索

■人工物を小さくすることで何ができるのか

「人工物を小さくすることで何ができるのか」。小西教授は様々な角度から、その可能性に挑戦し続けています。現在はライフサイエンス分野を中心に、培養された細胞組織を傷つけることなく自在につかんだり・放したりできるマイクロマシンの開発を行っています。
小西教授が開発したマイクロマシン、「マイクロハンドみゅーたん」はシリコンラバー製で、その先端に１ミリ幅の５本の指があり、その １本1本を自由に動かすことができます。指の中央部の間接に秘密があり、ここを風船のように膨らませると、指はモノをつかむ動作となり、圧力を抜けば真っすぐに戻ります。既にこのマイクロハンドを備えた体内ロボットが製作された他、内視鏡にも装着されています。





幅1mmの５本の指が並ぶ
「マイクロハンドみゅーたん」

■小西教授の研究にかける想い

私は元々、電子工学の出身ですが、生命に興味がありました。生体は素晴らしいモチーフなので、ものづくり技術の結晶であるメカやデバイス、バイオなど様々な分野のプロが結集すれば、ライフサイエンスや医療分野への応用など多彩な可能性が無限に広がる。私が担当するバイオメディカルデバイス研究センターでは、そんな最先端の異分野融合に挑戦しています。もっと医療を人間に優しいものにするとともに、立命館発で世界の医療のあり方を革新していきたいです。

考古学者の直感で京都をひらく

立命館大学 文学部　木立 雅朗 教授

立命館大学　アート・リサーチセンター　検索

■「遺跡を守りたい、伝統を守りたい」という考古学者の母性本能

これまで数々の伝統工芸品に纏わる調査・研究プロジェクトを実施してきた木立教授。現在は、専門である考古学（古代焼き物・須恵器）を基盤として、地域史の観点から京焼の登り窯や友禅資料群の収集・保存など、京都の文化遺産の保護活用も行っています。
木立先生は、友禅の原画の面白さに惹かれ、自分用に何枚か購入したことがきっかけとなり、友禅資料群の収集・保存を行うようになりました。そして次第に、友禅が下絵図案のデジタル化や業者の廃業などにより苦しい状況に立たされているという事実を知り、「何とかして伝統を守りたい」という「考古学者の母性本能」に突き動かされ、収集・保存活動を開始されました。現在では、明治・大正・昭和初期における約２万点の友禅図案が、立命館大学アート・リサーチセンターにてデジタル化されつつあります。

清水焼で作られた手榴弾

■木立教授の研究にかける想い

京都はただ美しいだけのところではありません。戦時中は原爆投下の候補地となり、終戦末期には清水焼で陶器製手榴弾を作らざるを得ませんでした。長い歴史の中で、強い光と深い影の双方を経験してきたのです。「京都らしさ」といえば、美しい部分だけに焦点が絞られ、影の部分は無視されてきました。そして、伝統工芸を守り伝えるために一部の方々が重ねてこられた苦労や努力も、十分に評価されているとはいえません。「なんとか残さなければいけない」という想いだけでなく、「なぜ残さなければいけないのか」、その説明をきちんとできることが大切です。そのためにも、私は何が大事かということを京都学で実際に研究しています。

＜表紙写真＞
本報告書の表紙は、立命館大学アート・リサーチセンターにてデジタル化された資料の一部です。友禅は美しい古典的な柄だけではなく、その時代の世相や流行が反映されたものも実は多くあります。木立教授は友禅資料群の収集・保存活動を通じて、友禅が持つそのような多面性を明らかにする取り組みを行っています。